

あれから **1 世紀!**

2023.9.1

1923.9.1
大正 12 年

いま 歴史からの教訓!
保存・継承 そして
いざという時の
備えとして……

関東大震災

パニック:

新聞報道 2 か月半

…復興

右往左往 動揺 不安 火災 甚大被害 被災 混乱
号外連発 銀行預金支払停止 物価暴騰・下落
戒厳令 政府 官庁 政治 経済 労働 保険 企業
交通 鉄道 道路 土木 建築 家屋 水道 電気
世相 群集 心理 世相 家庭 庶民 学校 教育

残部
数組

(2023.6)

資料に命のちを
作品に心こころを
形にして伝える。

全 2 巻

(大空社 1992 年 8 月)

広げれば
A 2 判!

学術資料出版
大空社出版

www.ozorasha.co.jp

迫力の
大紙面
100 年前が
眼前に!

1923（大正12）年9月1日

関東大震災が起きた日から

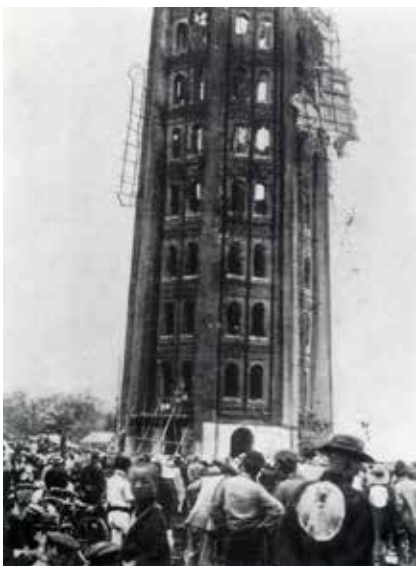
2か月半後、戒厳令が撤廃された11月16日までの
全国の新聞（延べ37紙）・官報等を分類・整理し収録。

関東大震災がもたらした
社会の変動が
迫力の紙面から
手に取るように読み取れる
歴史の第一級資料

- * 日に何度となく発行された号外は、混乱と動揺、まさにパニックの実態を赤裸々に伝える。
- * 震災後に起きる様々な問題（衣食住、銀行預金の支払い停止、火災保険、商品価格の暴騰と下落、教育問題、復興資金、労働問題等）は、汲めども尽きぬ歴史的教訓を今日に示唆してくれる。

〈資料・解説〉

- * 震災当時の新聞報道の実態をわかりやすく解説した「関東大震災と新聞」（新聞資料ライブラリー代表（刊行時）・羽島知之）掲載（上巻）。
- * 本集成収録記事をベースとした「新聞に見る震災後の社会の主な動き」を掲載、「政治・経済」「生活・文化・世相・時事」「その他」の3ジャンルに分け、日を追って震災後の変化がわかるようにした（下巻）。



凌雲閣



上野大仏





上 激震・関東大震災の日

大震災に関連する『官報』、公報の『震災彙報』、全国の主な新聞社が頒布した『号外』『附録』『帝国大学新聞号外』、大正12年9月1日から5日までの全国の主な新聞社の朝刊・夕刊、及び震災の被害を受けた主な中央紙の復興後の記事を収録。パニックの実態速報。

【上巻 収録紙】

〔官報〕

官報号外 9/2~5

官報 9/4

官報公告 9/5

〔震災彙報〕

震災彙報 9/4~10/23

〔号外〕

大阪毎日新聞号外 9/1~16

小樽新聞号外 9/2~10

大阪朝日新聞号外 9/2~9

九州日報号外 9/2~9

福岡日日新聞号外 9/2~16

下越新報附録 9/3

新愛知号外 9/3.4

大阪毎日新聞名古屋附録号外 9/3~7

京都日出新聞附録 9/3.5

大阪毎日新聞山陽号外 9/3

大阪毎日新聞福岡号外 9/3~6

京城日報号外 9/3.4

名古屋新聞号外 9/4.6

名古屋毎日新聞号外 9/4.6

軍港新聞号外 9/4

東京日日新聞号外 9/5

大阪朝日新聞附録 9/5~9

国民新聞号外 9/7~10

読売新聞号外 9/7~10

北海タイムス号外 9/8

大阪毎日新聞附録西部毎日号外 9/8~20

東京朝日新聞号外 9/10.11

荘内新報号外 1~23 報

鶴岡日報号外 1点 (日付号数無)

帝国大学新聞号外 9/30.10/14

新聞資料ライブラリー監修

関東大震災

シリーズその日の新聞

全2巻

(大空社 1992年8月刊)

残部
数組

(2023.6)

〔全国主要新聞：9/1 夕刊～9/5 夕刊〕

大阪時事新報 9/1 夕刊～5 夕刊

大阪毎日新聞 9/1 夕刊～5 夕刊

小樽新聞 9/2~5

京都日出新聞 9/2~5 夕刊

大阪朝日新聞 9/2 夕刊～5 夕刊

静岡民友新聞 9/3~5

大阪毎日新聞京都滋賀附録 9/3.4

大阪新日報 9/3 夕刊.4 夕刊

駿遠日報 9/4

新愛知 9/4

日本織物新聞 9/4.5

大阪毎日新聞東京新聞代用 9/4 夕刊

信濃毎日新聞 9/5.5 夕刊

静岡国民新聞 9/5

大阪今日新聞 9/5

〔被害を受けた中央紙の復興後の新聞〕

都新聞 9/8

万朝報 9/11

時事新報 9/12

東京朝日新聞 9/12

読売新聞 9/12

国民新聞 9/14

中外商業新報 9/15

二六新報 9/25



下 戒厳令撤廃までの76日

関東地区の新聞社の中で、震災による被害が比較的少なかった『報知新聞』『東京日日新聞』の大正12年9月5日から、戒厳令が撤廃された11月16日までの記事を収録。震災後に起きる様々な問題が報じられている。

【下巻 収録紙】

報知新聞 9/5~30

東京日日新聞 9/6~11/16

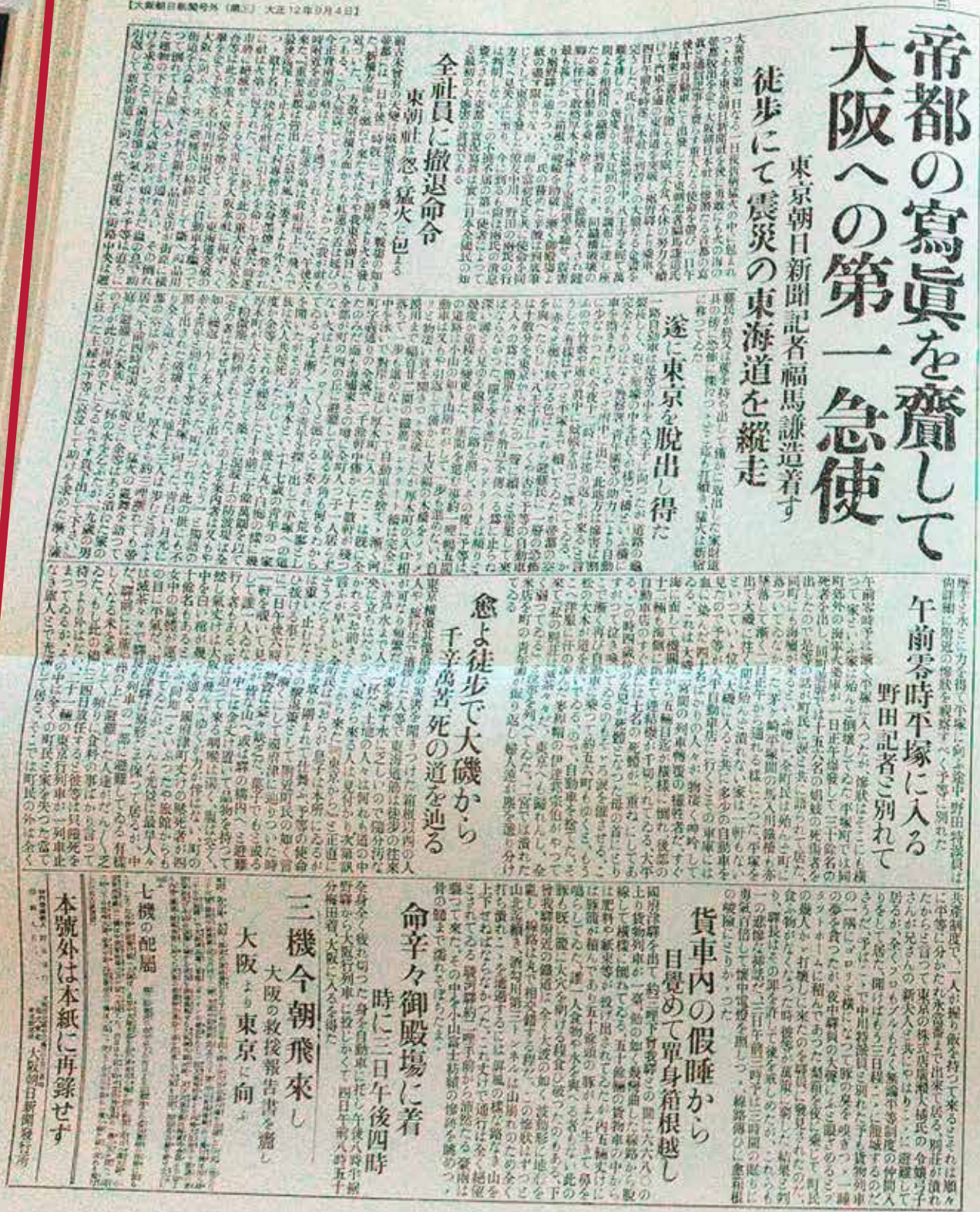
いまだから
すべての人に
手にしてほしい

図書館必備図書

【大正朝日新聞号外（第三） 大正十二年九月八日】



さながら当日の新聞を手取るような
迫真の紙面が展開



新聞各頁は A2 判を二つ折りにした折り込み
号外は原寸大、他新聞等は 70 ~ 80% に縮小して収録

大朝日新聞臨時増刊号外 第二

大 阪 電 話

高田師團に動員令

温度百五十度に及ぶ

戒厳令益嚴重

非常戒厳令

横濱市は無警察状態

建築材料運送命令

發行所 大朝日新聞通信部

販賣所

支店 東京 大阪 神戶 名古屋 京都 福岡 札幌 仙台 青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 徳島 香川 高松 愛媛 高知 福岡 佐賀 大分 熊本 鹿儿岛 沖縄

九州日報臨時増刊号外 第一

昨日午後の東京市

偵察飛行で判明

東京も尚延焼中

全通信省

昨日午後一時

親任式舉行

宮城の各御門被害

横濱市は

沼津強震

累々たる惨死體

沼津では

長野縣下各地被害

義金

全滅

最初の列

在り

無數

五百の死體

足柄

反土

沼津行きの

被害地を



宮城の各御門被害
横濱市は
昨日午後一時
親任式舉行
沼津強震
累々たる惨死體
沼津では
長野縣下各地被害
義金
全滅
最初の列
在り
無數
五百の死體
足柄
反土
沼津行きの
被害地を

↑日に何度となく「号外」を発行

←「震災義金」全国から続々と

関東大震災 上

激震・関東大震災の日

生々しい
現実！ 実態！

18 昭和新聞 大正12年9月10日夕刊

番安のいば一紙貼合の導が第皇子親・明不死生
を生一に死九てん込に堂宮殿の草浅
容取一院病を者病傷た得



夕報新聞
一部 賣
定價二支

大震災後の帝都に最初の新聞

この天譴を前に銘じ
大東京再造着手
連日夏教養策に入

米穀生牛肉
輸入税免除
九日閣議決定

東大震災救済会
大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

聯合義隊活動
救済費に充當
支拂のが当然
三井銀行
支拂開始

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会

東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会
東大震災救済会



大震災
大震災
大震災
大震災

大震災
大震災
大震災
大震災

大震災
大震災
大震災
大震災

大震災
大震災
大震災
大震災

大震災
大震災
大震災
大震災

大震災
大震災
大震災
大震災

2023.9.1

未曾有の災厄から100年

迫力・迫真の**大紙面**で
記憶を鮮明に留める！

1923.9.1
大正12年

○お断り○ 本の状態について

本書は刊行年が古いため（約30年前）、カバー・表紙・見返し等に経年による劣化が見られますが、本文は良好で閲覧に支障はありません。



上 激震・関東大震災の日
下 戒厳令撤廃までの76日

〈シリーズその日の新聞〉

新聞資料ライブラリー監修

関東大震災

全2巻

■ A3判（297×420^{3/4}） 横長・各巻約400頁
上製角背・カバー装

定価38,446円（本体34,951円＋税10%）

（大空社1992年8月刊）

残部
数組

（2023.6）

学術資料出版
大空社出版

東京都北区中十条4-3-2
（〒114-0032）
TEL:03-5963-4451
FAX:03-5963-4461
eigy@ozorasha.co.jp

お取扱い